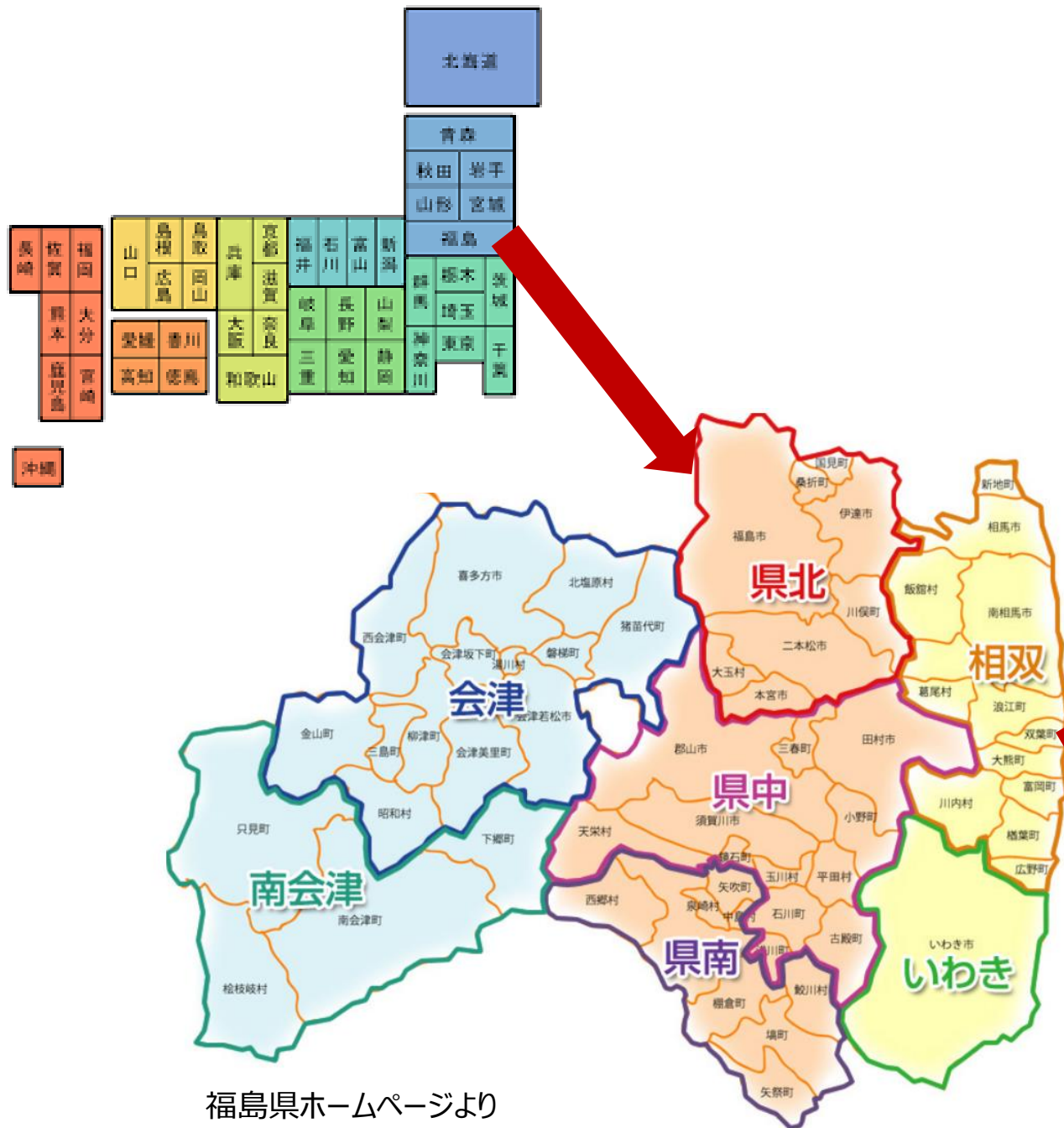


福島県双葉郡浪江町

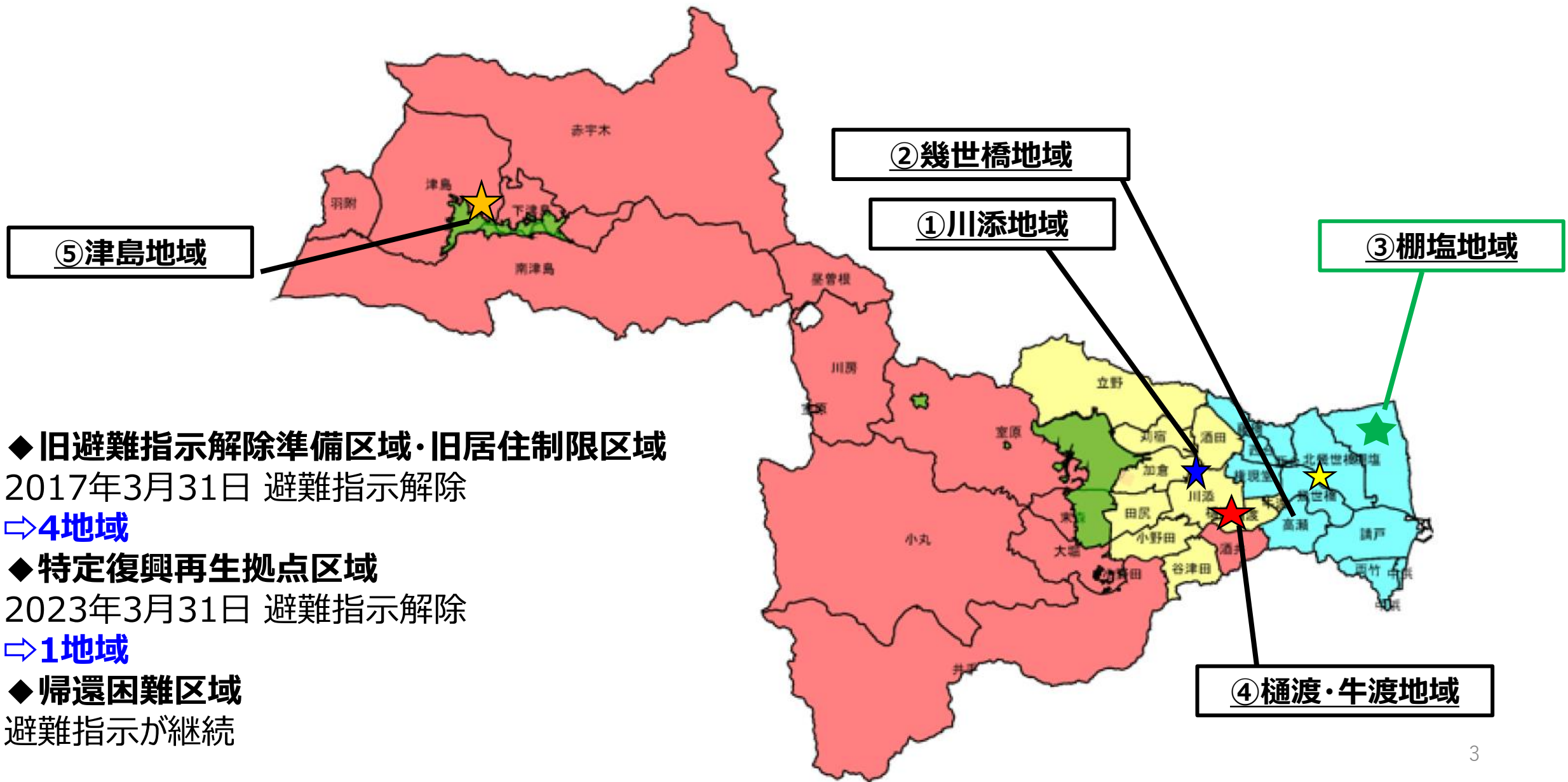
- ・2011年3月12日、一斉に避難し、居住者が一時的にゼロとなった。
- ・2017年3月31日、避難指示解除後、人口21,542人。
現在の居住人口は、2,106人。
- ・帰還者、避難先での生活を続け通っている住民、
移住者と多様な背景を持つ住民が暮らしている。
- ・浪江町は、49行政区に分かれており、
行政区ごとに避難指示解除の時期に差がある。



福島県ホームページより



浪江町



浪江町におけるコミュニティの復活・誕生、



住民がコミュニティに求めていることに着目。

浪江町

新規就農者



ファーム おりびっつ



福島県浪江町で2021年6月に就農
(叔父の農地を活用)

出身：浪江町大堀地区（井手）、実家は、米農家。

法政大学法学部法律学科卒業
証券会社に4年弱在籍

日本農業経営大学校（専門学校・2年制）卒業
いわき市で農業法人（ふくしまオーガニックコットンプロジェクト）で3年従事
浪江町に戻り、（一社）まちづくりなみえでカフェ部門と期間町民雇用事業に従事

基本方針

「都会のお金持ちに美味しい野菜を高く売る」
→高付加価値の野菜を都会に売りに行く

アスパラガス等
の有機野菜
生産・直売

有機JAS
認証取得
準備中

低コスト
低投入
低環境負荷

- ・小型ハウスの活用
- ・大型機械を使わない
- ・自分でできることは自分でやる
→溝掘り、灌水チューブ敷設など

一人で始めた
農業…

基本方針

「都会のお金持ちに美味しい野菜を高く売る」

ファーム

就農のポイント

- ① 地縁がある
- ② 法人で修業経験がある
- ③ マーケティング、予算管理の知識がある
(学び続けている)
- ④ 明確な戦略がある
- ⑤ 農家コミュニティに属している



福島県
(叔父
出身：

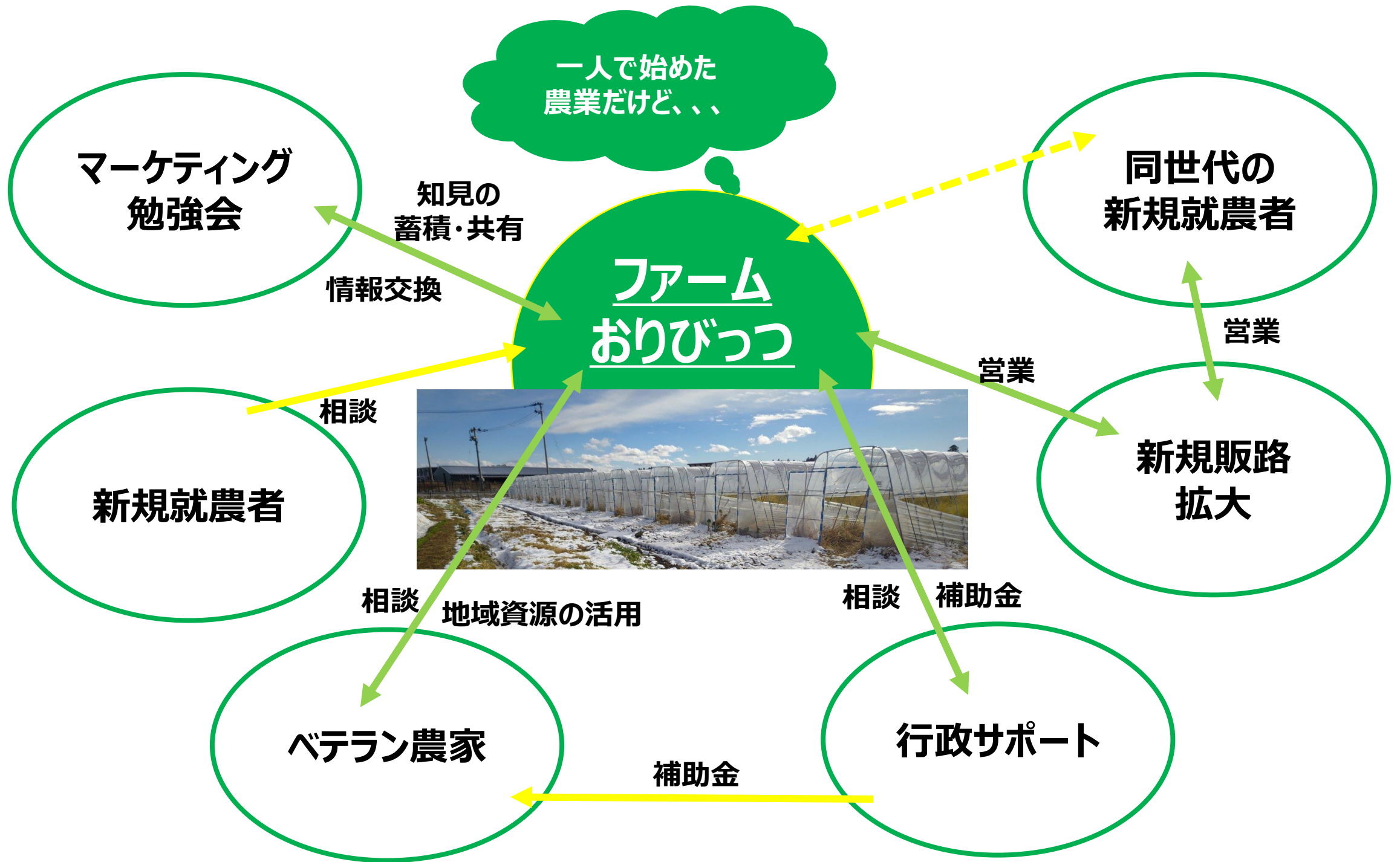
法政大
証券会

日本農

いわき市で農業法人（ふくしまオーガニックコットンプロジェクト）で3年従事
浪江町に戻り、（一社）まちづくりなみえでカフェ部門と期間町民雇用事業に従事

る
など

一人で始めた
農業…



マーケティング勉強会



新規販路拡大



ベテラン農家



- ・頻度は、年5回。
- ・**ベテラン就農者と一緒に議論**
(花農家、米農家、野菜農家)
- ・中小企業診断士も交えて、
情報交換
- ・意見の違いが発生することも

- ・表参道の有名フランス料理店に
自ら資料とアスパラを送付
- ・**「想い」とこだわりの売り込み**
- ・**顔が見える関係性**
- ・「価値」を理解してもらう営業
- ・**ブランド構築のセンス**

- ・技術の伝授
- ・近所の竹林で出た竹チップ
- ・近所の米農家からもらったモミガラ
- ・互いの農作物の交換
- ・**困った時に助けてもらう関係性**

ベテラン農家

赤字



同世代の 新規就農者

交流
なし

新規就農者

反対

地縁
なし

今後の課題

- ・黒字化！まだまだ赤字
- ・年間の時期的な作業負担の平準化
⇒夏場が大変すぎる
- ・栽培方法の洗練化
⇒まだまだたくさん課題がある
- ・アスパラガス以外に何を育てるか？
⇒アスパラガスが不調だと大変なことになる
- ・将来、人体的な影響がないとは言い切れない？



今後の展望

- ・農業体験をやりたい
- ・浪江にもっと人を呼びたい
- ・地域内でもっと仲間を増やしたい
協力・協働のしくみを作りたい
- ・「大変だから」ではない商品価値の創造

今後の課題

- ・黒字化！まだまだ赤字
- ・年間の時期的な作業負担の平準化
⇒夏場が大変すぎる
- ・栽培方法の洗練化



生産者と研究者の協働

- ① 専門的知見の共有
- ② 生産者との対話（理解度の調整）
- ③ 生産者同士をつなぐきっかけづくり

今後

- ・浪江にもっと人を呼びたい
- ・地域内でもっと仲間を増やしたい
協力・協働のしくみを作りたい
- ・「大変だから」ではない商品価値の創造